

中間評価結果（平成17年度採択研究課題）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	道路機能に対応した性能目標照査型道路計画・設計手法論の研究開発	名古屋大学大学院助教授 中村 英樹	A

< 研究継続の妥当性評価 >

- ・ 研究体制、目標、現段階での成果、進捗状況はともに良好であり、計画通り研究を継続することが妥当である。

< 参考意見 >

- ・ 我が国の道路整備が置かれた状況を十分に勘案の上、今後より確実に成果を得るため、研究適用対象を絞り込む（例えば中山間地の2車線道路を対象とする等）ことによって、さらに効果的な研究とされることを期待する。
- ・ 信号制御のあり方など、交通制御によって道路の性能は大幅に異なるので、その点にも十分な配慮をお願いしたい。

評価

- A：当初計画は順調に実施され、現行の努力を継続することによって目標達成が可能と評価される。
- B：当初目標を達成するためには、評価者からの指摘事項に留意し、一層の努力が必要と判断される。
- C：このままでは当初目標を達成することは難しいと思われるので、評価者からの指摘事項に沿って、当初計画の適切な変更が必要と判断される。
- D：現在までの進捗状況に鑑み、今後の努力を待っても当初計画の達成は困難と思われるので、研究を中止することが妥当と判断される。